



NEWS RELEASE

2016年7月12日

**アナログ・デバイセズ、高速で快適な未来規格での超高精細テレビ視聴を実現する
新しい RF D/A コンバータ AD9162 を発表**
～放送・通信事業者にクラス最高の帯域幅とダイナミック・レンジを提供～

アナログ・デバイセズ株式会社

[アナログ・デバイセズ社](#) (NASDAQ:ADI) は本日、テレビ放送の未来像を提示する新しい RF D/A コンバータ AD9162 を発表しました。本製品により、4K をはじめとする超高精細 (UHD) テレビ放送を、多チャンネルに渡り、前例のない速度でストリーミングおよびダウンロードできるようになり、高速で快適な視聴を楽しむことができます。また、本製品は放送業界にとっても画期的な製品です。ブロードバンドやワイヤレス放送事業者は、AD9162 RF D/A コンバータによって業界最高の帯域幅とダイナミック・レンジを獲得できるため、高額投資を必要とするアーキテクチャやコンバータの大規模な設計変更を伴うことなく、常時接続による高品質なデータおよび動画ストリーミングを強く求めるようになった消費者需要に応えることができます。

16 ビット、12 GSPS の AD9162 コンバータは、クラス最高の 2.5 GHz という帯域幅を誇り、これは通信サービスの国際規格 DOCSIS (Data Over Cable Service Interface Specifications) 3.1 の将来的な任意要件として規定された 1.794 GHz を、さらに 40% 近くも上回るものです。この広帯域幅によってコンバータ設計を変更する必要がなくなり、開発期間と開発リソースを縮減しながら、次世代ネットワークへのアップグレードや容量の拡張を計画できるようになります。

業界最大のダイナミック・レンジ (-167dBm/Hz NSD で -82dBc SFDR) を誇る AD9162 コンバータにより、ダイレクト RF から 6 GHz までの幅広い周波数帯の信号が同期できるようになります。無線通信機器・設備開発においても、IF から RF へのアップ・コンバージョン段階と局部発振器の生成が不要となり、基地局の部品点数、サイズ、消費電力を削減できます。AD9162 は全てのワイヤレス通信インフラ用プロトコル (WCDMA、LTE、LTE-A、Point-to-Point) をサポートしているため、マルチバンド対応かつマルチ規格に準拠した先進の無線システム設計が可能になります。

その他の機能と特長

AD9162 コンバータは、データ・レートやコンバータ・クロッキングが低い場合でも、システム全体の消費

電力を削減し、フィルタリング要件を緩和する構成を実現できるよう、2x のインターポレータ(FIR85)を搭載しています。ミックス動作モードでは、比類のないダイナミック・レンジを維持しつつ、第 2 および第 3 ナイキスト・ゾーンの RF 搬送波を最大 7.5 GHz まで再生成できるよう RF D/A コンバータを構成できます。

製品仕様

製品	DDS 周波数ホッピング	更新レート	ダイレクト RF 合成	ベースバンド・モード	ノーマル動作モード	ミックス動作モード
AD9162	NA	12 GSPS	6 GSPS	DC～2.5 GHz	DC～6 GHz	1.5～7.5 GHz

価格と提供時期

下記表中の価格は米国での価格です。

製品	サンプル出荷	量産出荷	1,000 個受注時の単価	パッケージ
AD9162	出荷中	出荷中	150ドル	8 mm x 8 mm CSP-BGA 11 mm x 11 mm CSP-BGA

【関連資料】

- AD9162 の製品概要、データシートのダウンロード、サンプル、評価用ボード等の詳細はこちらよりご参照ください。スペックの詳細、ブロック図、各種特性、概寸等の技術資料・データはデータシート(英文)に記載されています。

<http://www.analog.com/jp/AD9162>

- アナログ・デバイセズの D/A コンバータの製品ラインナップはこちらをご覧ください。

<http://www.analog.com/jp/products/digital-to-analog-converters/da-converters.html>

###

アナログ・デバイセズについて

アナログ・デバイセズは、半導体製品とソリューションを提供しています。1965 年に設立され、世界をリードする信号処理技術で「アナログとデジタル」「夢と現実」との懸け橋を担ってきました。

「[想像を超える可能性を](#)」という新たなスローガンを掲げ、イノベーションを加速し、ブレークスルーを生むソリューションをお客様と共に切り拓いていきます。 <http://www.analog.com/jp>

■本リリースに関する報道関係者からのお問い合わせ先■

アナログ・デバイセズ株式会社 広報・宣伝部

電話 03-5402-8270 marcom.japan@analog.com

または

株式会社プラップジャパン 担当:谷本、宮原

電話 03-4580-9109 analogdevices.pr@ml.prap.co.jp